

第49回通常総代会発言・討論まとめ

専務理事 佐藤 賢治

平和に関する活動について、引き続き国際社会へ向けて皆さんの声を反映した意見表明や、『ピースキャンドルナイトの開催』、『ピースアクションへの参加』などと合わせて、今年は憲法学習会の開催などを通じて、学び合い、考え合う場づくりを大切にすすめます。

今回方針としている、『子育て世代のくらしを応援する』は、全世代の組合員のみなさんと一緒に行動すべきテーマであると考え、いろんな施策を協議中です。子育て世代にとって『使いやすい・参加しやすい・つながれる』生協を目指して取り組んでまいります。

安全な食について、生鮮主力商品をはじめとした多くの産地・生産者との交流を積極的に進め、「知り・学ぶ機会」を広げています。生産者の「作ったものは必ず買ってほしい」という

願いと、生協の「必ず利用するので安心して買ってほしい」という約束を大切にしながら、生産者の暮らしを守り、将来にわたり持続可能な生産を支えていくことをすすめます。

『ほのぼの』について実際に助け合い活動が行われていることに、生協の大きな価値を感じる一方、その存在が十分に知られていない点について、どのように伝えていくか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

今回の総代の皆さんからは、世界情勢の不安定化による暮らしへの不安が多く寄せられる一方で、配達担当者への感謝と労働環境の改善を希望する声を数多くいただきました。働く人の環境改善は重要な経営課題として認識し、取り組んでまいります。



2030ビジョン

北摂の地で組合員を主役に、 地域とつながり 「ここで暮らしてよかった!」を実現する ～この地で生まれ育った生協だからこそ～



株式会社イサミの北川介通社長よりご挨拶いただきました



途中よどまるが登場し、一緒にストレッチ♪

くらしの助け合いの会『ほのぼの』もよろしくね



2026年度取り組むこと・4つの柱

みんなで子どもの未来を応援しよう

地域社会の一員として地域でもささえあい、組合員一人ひとりが実感した生協のよさを伝え、生協の利用や活動の参加をひろげ、それぞれの思う豊かなくらしの実現をめざしていきましょう。

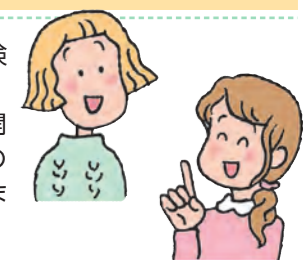
みんなが笑顔になる食やくらしを実現する事業をすすめてみましょう

買い物などの困りごとなど、生協の事業や活動を通じて解決をめざし、組合員一人ひとりにとっての豊かなくらしをめざしましょう。



知りたい、学びたいを大切に、誰もが参加できる活動をすすめてみましょう

生涯を見据えて、介護保険制度や「生協10の基本ケア®」福祉整理®などの学習会を開催し、福祉・サービス事業の認知度向上を一緒にすすめてみましょう。



発展し続ける生協をめざして、将来に備えましょう

子育てや介護と仕事を両立できる制度整備、子育て中の職員どうしのつながりづくりなどをすすめます。働く人の命と健康を守り、イキイキと働き続けられる職場づくりをめざします。(熱中症対策や防災対策、施設の改修など)

ありがたい社会・地域づくりへの想いを広め、協同をすすめてみましょう

「身近」「気軽に」「きっかけ」「継承」をキーワードに、平和の取り組みを組合員と生協と一緒に考え、すすめてみましょう。学習や体験の機会を継続的に設けることで組合員一人ひとりが平和を自分ごととして考え、行動につなげましょう。



※第49回通常総代会議案書・意見集をご希望の組合員は、組織部までお電話ください。
☎06-6319-5619 (受付:月~金、9~17時)

当日発言・主旨

※事務局で要約し掲載しています。全文は意見集をご覧ください。意見集をご希望の方は組織部までお電話ください。

わたしの想い～議案への意見～

平和グループへの想い

吹田市：常本映子総代

安全な食べ物やいまの暮らしも平和でなければ手に入れることはできません。平和グループでは毎月の定例会で平和に関する学習を行っています。最近では『ピースあいち』の見学、ピースキャンドルナイトへの参加、バスツアーなどを行い、平和への理解を深めました。地球上で起こっている戦争を他人事と思わず、身近なところから平和と一緒に考えてみましょう。

みんなで子どもの未来を応援しよう

島本町：藤本雅恵総代

近年の物価高、社会環境の変化により不安を抱える子育て世代にとって、生協が『商品を届ける』だけでなく、『地域で支え合うつながり』をつくる存在であってほしいと思います。便利さだけでなく人々との温かさを大切にし、子どもたちが安心して笑顔で暮らせる未来につながる活動を、よどがわ市民生協と共に支えていきたいです。

これからの食について

吹田市：福田かおる総代

2024年、私たちの主食である米が店頭から消え、『食べる』という基本的な部分を揺るがす事能がありました。日本の食料自給率は低く、自分自身何が出来るのか?と考えると、やはり国内生産された食材を購入し食べて応援することだと感じます。子や孫の世代にも日本の食材が安心安全なものとして受け継がれていくことを願います。



わたしの想い

茨木市：松本絵美総代

生活文化委員会として活動してきましたが、総代になってからより生協の活動に注目することが増えました。近年の取り組みでは『はっちほっち』のスタートや『よどまるファミリーサポート』など『笑顔広がる豊かなくらし』を実現できているのではないのでしょうか。今後も議論を進め、誰かのためになる活動していきたいと思います。

生協くらしの助け合いの会『ほのぼの』をもっと拡げたい!

摂津市：寺尾千恵子総代

『ほのぼの』は『困ったときはお互いさま』を合言葉に活動している自主的な会です。昔のような助け合いの場が減る一方、子育て世代や高齢者の困りごとなど助け合いで解決できることがいっぱいあると思います。ただ組合員全体にまだ知られていないのは残念です。今年の総代会1号議案『ありがたい社会・地域づくりに向けて協同をすすめてみましょう』の命題そのままの活動『ほのぼの』をぜひ拡げていきたいと思います。



お買い物と平和をつなぐ、生協だから一緒に考えたい、憲法のこと

豊中市：遠地杏子総代

いま戦争によって平和を脅かされている国々が世界のあちこちにあります。このような情勢ですから、日本に住む私たちも平和を望まない人などいません。平和をどのように実現するか、その出発点として『日本国憲法とは何か』、私たち市民と一緒に考えられるような学習会をぜひ企画して欲しいと思っています。消費行動と平和をつなげて考えられる『生協』だからこそよろしくお願ひいたします。